

夏の植物に親しもう

2015年8月23日(日)



植栽管理委員会

(目 次)

植物名	ページ	植物名	ページ
1. 高木・中木編	1		
花が咲いている木	1	イモカタバミ	11
エンジュ	1	ウリクサ	11
サルスベリ	1	エノコログサ	12
木の実の成長	1	オオバコ	12
イヌシデ	1	オニユリ	12
ウメモドキ	1	カタバミ	12
エゴノキ	2	キツネノマゴ	13
オニグルミ	2	クズ	13
カキノキ	2	ゲンノショウコ	13
カマツカ	3	コバンソウ	13
クヌギ	3	シロツメグサ	14
シラカシ	3	タカサゴユリ	14
トチノキ	3	ツククサ	14
ナツツバキ	4	トキワツククサ	14
ハナミズキ	4	ニラ	15
ハナモモ	4	ハナカタバミ	15
ミカン	5	ヒガンバナ	15
モミジ類	5	ヒメジョオン	16
		ヒメヒオウギズイセン	16
2. 低木編	6	ヒルガオ	16
花が咲いている低木	6	ヘクソカズラ	16
アベリア	6	ヘラオオバコ	16
シモツケ	6	ホタルブクロ	17
ハギ	6	マツヨイグサ	17
ハクチョウゲ	6	メマツヨイグサ	17
フヨウ	7	マンネングサ	17
マンリョウ	7	ミズヒキ	18
ムクゲ	19	ムラサキカタバミ	18
ヤマアジサイ・白舞子	7	ムラサキツメクサ	18
木の実の成長	8	ヤブガラシ	18
オオバイボタ	8	ヤブラン	19
サザンカ	8	ワルナスビ	19
サンショウ	8		
センリョウ	9	5. 草花・園芸種	20
ツバキ	9	花壇の花	20
ナンテン	9	サルビア	20
ブルーベリー	9	ジニア(ヒャクニチソウ)	20
ムラサキシキブ	10	シロタエギク	20
		ペチュニア	20
3. つる性の木	10	ポーチュラカ	20
サルトリイバラ	10	メランポジウム	21
テイカカズラ	10	その他居住区内	21
		アガパンサス	21
4. 草花・野草編	11	タマスダレ	21
アカバナ	11	ホウセンカ	21
イタドリ	11	マツバギク	21
イヌタデ	11		



〔高木・中木編〕

花が咲いている木

エンジュ マメ科、落葉高木、中国原産。古くから庭木や街路樹として植えられる。

花期；7～8月、果実；9～10月頃 場所；団地と鶴牧東公園間の遊歩道沿い。

7月下旬から8月初めにかけて、路面が白くなるほどに落花していた(右 15 8/6)



(左) 8/6

(中)

7/27

マメ科
特有の花



サルスベリ ミソハギ科、落葉中木、中国南部原産。花期；7～10月。果実；10月頃熟す。

樹皮表面は著しく滑らかで、樹名もここから。庭木、公園樹、街路樹として広く植えられる。



写真；(左)(中) 14 8/18 最盛期、 (右) 15 8/6 咲き始めたばかり

木の実の成長

夏の木々は花も終わり、秋の実の熟する時期にはまだ早く、実の形成の移行期にある。それで、春から初夏の花とともに、現状、そして秋の実の状態を以下にまとめます。

イヌシデ カバノキ科、落葉高木 花期；4～5月 果実；10月頃に熟す。

場所；イヌシデは6号棟西、8号棟北側など



(写真)

(左)

14 4/1 花

(中)

15 8/4 実

(右)

13 8/27 実



和名の一部となっている「四手」とは「紙垂」とも書き、玉串やしめ縄につけて垂らす紙を特殊な形に断ち、折ったもの。果穂の姿をこの四手にみたてたもの。

ウメモドキ モチノキ科、落葉低木 花期；5～7月、果実；9～10月頃 場所；2号棟北側

日本固有種。落葉後に残った果実が赤く美しく、観賞用に庭木や盆栽として植えられる。



(左) 15 5/30 小さく地味な花 (中) 15 8/4 青い実 (右) 13 10/21 赤く美しく熟れた実

エゴノキ エゴノキ科、落葉中木 花期；5～6月、果実；8～9月に熟す

場所；2号棟南側、6号棟北側、中央広場、10号棟西側。北法面の8-9号棟間付近



(左) 14 5/20 香りただよう花 (中) 15 8/4 実 (右) 14 10/7 実の変化
材は固く白いので、建築材や玩具などに利用される。

オニグルミ クルミ科、落葉高木 花期；5～6月、果実；9～10月に熟す。

堅果を割って食用にする。場所；中央広場の7号棟寄り。

実生の幼木も傍に生えている。

クルミの木



(左)
14
5/16
雄花

(中)
15 8/4
実



カキノキ カキノキ科、落葉高木

花期；5～6月、
果実；10～11月に熟す

場所；中央広場

ここにあるのは渋柿のようで、
渋抜きしないと食べられない。

(右写真) 15 8/4 実と柿の木



カマツカ バラ科、落葉中木 花期；4～5月、果実；10～11月に赤く熟す、場所；中央広場



(左) 15 4/24 花 (中) 15 8/4 青い実 (右) 13 10/21 赤く熟した実

和名は、材が固く、鎌などの柄(つか)に使われたため。昨年はあまり実をつけなかったが、今年はたくさんの実をつけている。(1年おきか)

クヌギ ブナ科、落葉高木 花期；4～5月、果実；翌年の秋に熟す
場所；北法面や1号棟北駐車場わきなど



(左・右)
14 4/25
花と木

(中)
14 8/18
落果



ゴツゴツして深くえぐれたような感じの幹が特徴。ドングリは写真のように特徴的だが、樹高が高すぎて目で見ることにはできない。大風などで落下したのを探すしかない。

シラカシ ブナ科、常緑高木
花期；5月、果実；秋
場所；東法面、北法面
8月寸詰まりのドングリは、
9月にはまだ青いが普通の形に
なった。

(写真左) 13 8/2 寸詰まりの実
(同右) 13 9/16 ドングリの
形になった実



トチノキ トチノキ科、落葉高木
花期；5～6月、果実；9月
場所；北広場、南広場
種子は渋抜きしたものをとち餅
など食料にする。

昨年剪定したので、今年は見られない

(左) 14 5/2 花 (右) 14 8/4 実



ナツツバキ ツバキ科、落葉高木 花期；6～7月、果実；9～10月に熟す。
場所；3号棟北側、7号棟北西、北法面8-9号棟間付近



(左) 14 6/13 花 (中) 15 8/4 実 (右) 14 9/4 裂開した実
別名シャラノキともいわれるが、インド原産のサラソウジュと誤認したもの。
庭木、公園樹として植えられている。

ハナミズキ ミズキ科、落葉中木 花期；4～5月、果実；9～10月に熟す。
場所；5号棟南側、8～9～10号棟南側



(左) 14 4/17 花 (中) 15 8/4 青い実 (右) 13 11/5 熟した実
桜の並木をワシントン市に贈った返礼として、大正4年に日本にもたらされた。花は桜と入れ替わるようにして咲き、秋には紅葉が楽しめる。

ハナモモ バラ科、落葉中木 花期；3～4月、果実；7～8月に熟す 場所；東法面バス停付近（赤と白）



(左) 14 3/28 赤花 (中) 14 4/1 白花 (右) 15 8/4 熟した実、間もなく落果する
食用の桃と比べ、実は小さく、苦みがあって食べられない。そのかわり花は大きく、花色も豊富。
8月前半には落果する。

ミカン(カンキツ類) ミカン科、常緑低木～中木
 花期；5～6月、果実；10～12月に熟す
 場所；北東法面に2本ある。年によって実のなりが違う。



(左) 14 5/20 つぼみ (中)(右) 15 8/4 青い実と木の状態

モミジ類 カエデ科、落葉高木 3種類のモミジがある。紅葉は種類によって異なる。
イロハモミジ ；東法面バス停付近、花期；4～5月、果実；7～9月頃に熟す。紅葉は11月下旬～12月上旬



イロハモミジの変化 (左) 14 4/7 つぼみ (中) 14 4/26 開花 (右) 14 5/13 すぐに実ができる



(左)15 7/20 (中)13 11/14 熟した実 (右)ばらしてみると2個対になっているのが分かる

イロハモミジの紅葉 13 12/4

ヤマモミジ ；中央広場、花期；4月頃、
 果実；6～9月頃に熟す、紅葉は11月中旬～下旬。
オオモミジ ；北進入路脇、花期；4～5月、
 果実；6～9月頃に熟す。防火水槽側、紅葉は12月上旬



〔低木編〕

花が咲いている低木

この季節は花は少なく、特に今年は酷暑続きで、例年では8月初めに見られた花も、花期が終わってしまっているのが多い。

アペリア(ハナゾノツクバネウツギ) スイカズラ科、半常緑低木 花期；6~10月

場所；居住区内随所、

中国原産、日本には大正時代に渡来した。名前は、ガクが羽根つきの衝羽根(ツクバネ)に、木の形がウツギに似て、花が多く長く咲いて、花の存在が目立つことに由来している。成長が早く、半年にわたって次々に咲く。(写真左) 13 7/31



(右) 14 7/15 バス停への階段横

シモツケ バラ科、落葉低木 花期；5~8月、果実；9~10月 場所；中央広場、2号棟北側

シモツケという名の由来は、下野(栃木県)で最初に発見されたという説と、下野産のものが古くから栽培されていたという説がある。ブーケのように淡紅色の花が群れ咲き、自然樹形で楽しめる花木。

(写真) 15 8/4 中央広場にて



ハギ マメ科、落葉低木 花期；8~10月(ミヤギノハギ) 場所；法面随所

ハギとはマメ科ハギ属の総称。万葉の時代から秋の七草として親しまれているが、ハギは草ではなく木である。

当地の萩は、ミヤギノハギを主に、マルバハギらしきものが混じっているようだ。

(左) 14 8/18 10号棟北側

(右) 14 8/4 北駐車場・進入路の間



ハクチョウゲ(白丁花) アカネ科、常緑低木 花期；5~7月 場所；4号棟東、6号棟東

中国原産。庭木や生垣に用いられる。名前は「白い丁の字の花」の意味。

当地のハクチョウゲは、剪定されているためかほんのわずかしかな花をつけていないので、よく見ないと見落としてしまいそうな花である。

花期はほぼ7月に終わる。

(写真) 15 7/20 4号棟東



フヨウ アオイ科、落葉低木 花期；7~10月、果実；10~11月に熟す。場所；バス停への階段降り口わき

中国中部原産と推定。古くから庭木などに植えられている。日当たりの良いところを好む。太い木の移植はむずかしく、挿し木、実生、株分けなどで繁殖させる。



(写真左) 13 8/2 (右) 14 8/4

マンリョウ ヤブコウジ科、常緑小低木 花期；7~8月 果実；11~4月頃 場所；居住区、法面の随所
カラタチバナ、ヤブコウジなどとともに、正月の縁起木や商売繁盛の木として人気がある。寒い冬につややかな赤い実をたわわにつけ、冬のさびしい庭に彩りを与える。
(解釈によっては、センリョウは実が上につくので縁起が良いが、マンリョウは実が下につくのでよくない、という説もあるようです)



(左) 13 8/2 マンリョウの花 (中) 15 7/20 7月下旬は花盛り (右) 15 8/6 猛暑で花は終わってしまった

ヤマアジサイ・白舞子 ユキノシタ科、落葉低木 花期；6~7月 東法面の1号棟東方向、(北法面)

1号棟東方向の東法面下段に数種類のヤマアジサイがある。その種類によって開花時期がことなる。そのなかで、白い花の「白舞子」は花期が遅く、7月から8月初めにかけて見られる。ヤマアジサイは普通のアジサイより葉が細長い、葉が幅広く「白いアジサイ」のように見えるものもあり、どのような品種とすべきか分からない。

Wikipediaによれば、「ヤマアジサイはアジサイ科の一種、あるいはアジサイの亜種の説あり。ガクアジサイに比べ、花の色が多様性に富む。葉質は薄く光沢がなく、小さく、長楕円形・楕円形・円形など形はさまざまである」

とすれば、葉の形が違って、白いアジサイはすべて「白舞子」としてもよいのか、不明。



(左・中) 14 7/25 東法面の白舞子 (右) 13 7/6 北法面の白いアジサイ。これも白舞子？

木の実の成長

低木もまた、その多くの花期は終り、秋の実りの時期にはまだ早く、実の形成の移行期にある。それで、春から初夏の花とともに、現状、そして秋の実の状態を以下にまとめます。

オオバイボタ イボタノキ科、半常緑低木 花期；6~7月、果実；12月頃
場所；南広場の5号棟寄り自転車置場の周囲



(左)14 6/13 花 (中)この自転車置き場の周囲がオオバイボタ (右)15 8/6 実
江戸時代の末にアメリカから導入され、生垣によく利用されている。

サザンカ ツバキ科、常緑中木 花期；10~12月 果実；翌年の9月頃に熟す 場所；居住区内各所

花の少ない時期に生垣を彩る。童謡にも歌われ、親しまれてきた花木。果実はツバキより小さい。

(写真左) 13 11/17 花
(同 右) 15 8/4 小さな実



サンショウ ミカン科、落葉低木 花期；4~5月 果実；10月 場所；北法面、2号棟北、6号棟東



(左) 14 4/26 雌花 (中) 14 4/26 雄花 (右) 15 8/4 熟してきた実

雌雄異株。古くから香辛料や漢方薬として理利用されてきた、芳香と薬効のある樹木。雄株の花は「花山椒」と呼ばれ、新芽と花は料理の付け合わせに使われる。雌株は実を結び、未熟なものは「青山椒」と呼ばれ、おもに佃煮に、秋に成熟した実は粉末にして香辛料や漢方薬に用いられる。

センリョウ センリョウ科、常緑低木 花期；6~7月 果実；12~3月 場所；6号棟東
正月には欠かせない縁起物。(マンリョウの項を参照)



(左) 15 8/4 青い実 (中) 同、この右には黄色い実の木がある (右) 13 12/5 赤く熟した実

この団地にはマンリョウはいたるところにあるが、センリョウはここだけ。ここのセンリョウの実の色は橙と黄の2種類。印象的な実の色だが、正月が過ぎるころには小鳥に食べられて無くなってしまう。なお、6月頃に咲く花は目立たないのでつい見過ごしてしまう。

ツバキ ツバキ科、常緑中木~高木 花期；11~12月または2~4月(ヤブツバキ) 場所；居住区内各所

ツバキは日本の代表的な花木で、カメリアと呼ばれ、世界各地で愛され栽培されている。果実は2~2.5 cmの球形。



(写真左) 15 2/24 花
(同 右) 15 8/4 熟れてきた実

ナンテン メギ科、常緑低木 花期；6~7月 果実；11~2月 場所；居住区、法面の随所



(左・中) 14 6/16 東法面 (右) 15 8/6 実の付いているナンテンがなかなか見つからない

名が「難を転ずる」に通じる縁起木として信じられ、古くから庭木として根強い人気がある。しかし、当地のナンテンは実の付きが悪く、せっかく赤みが差しても小鳥に食べられてしまうようだ。

ブルーベリー ツツジ科、落葉低木 花期；4~6月、果実；7~8月 場所；東法面

4~5月初め、ドウダンツツジに似た小花を開き、果実は初夏にかけて、黄緑色から赤、赤紫色へと成熟する。甘酸っぱいさわやかな果実である。



(左) 14 4/26 花 (中) 14 5/20 花が終わって実がついてきた (右) 15 8/4 すっかり熟した実

ムラサキシキブ クマツヅラ科、落葉低木 花期；6~8月 果実；10~11月

場所；4号棟南~西、6号棟北側、北側法面上段8~9号棟



(左) 15 6/10 花 (中) 15 8/4 青い実 (右) 13 11/1 紫色が美しい実

「源氏物語」の作者、紫式部を連想させるが直接の関係はない。江戸時代に実紫(みむらさき)の名前で流通していたが、商売上、紫式部のほうが美しいということでこの美飾名が広がり、人気が出たといわれている。

〔つる性の木〕

サルトリイバラ ユリ科、落葉つる性半低木 花期；4~5月、果実；10~11月 場所；北法面

枝にカギ状のトゲがあり、トゲと巻きひげで、他の物にからみついて茎をのぼす。秋には朱赤色の実をつける。西日本ではこの植物の葉で団子を包む(柏餅)。

(写真) 15 8/6 まだ青い実

なお、「別名サンキライ」とされる場合もあるが、これは別の植物(草)を間違えたもの。



テイカズラ キョウチクトウ科、常緑つる性木本 花期；5~6月

場所；3号棟北、4号棟東、7号棟北の自転車置き場のフェンスに絡まるように植えられている。

風車のような形の花で、去年は8月初めまで花が残っていたが、今年はずで見られない。写真は 14 8/4 のもの。

和名は、式子内親王を愛した藤原定家が、死後も彼女を忘れられず、ついに定家葛に生まれ変わって彼女の墓にからみついたという伝説(能『定家』)に基づく。

